



冬休みのすいせん図書（1・2年）



平成30年12月 杉教研学校図書館部

「しずかにあみものさせとくれー！」
ベラ・プロスゴル

ほるぷ出版

たくさんのかぞくにかこまれてせいかつをしているおばあさん。おばあさんのねがいはただひとつ。

「しずかにあみものさせとくれー！」

とうとういえをでてしまいます。おばあさんはねがいをかなえることができるのでしょうか。

「まよなかかいぎ」

浜田 桂子

理論社

ゆうきくんがねたあとに、まよ中にひらかれるひみつのかいぎ。さんかしや、えんぴつ、けしゴム、ノート、クレヨン…ゆうきくんのランドセルの中に入っていたものぜんぶ。かいぎで話しあわれていることは…？

みんながねたあとも、こんなひみつのかいぎがひらかれているかもしれません。

「ホウホウフクロウ」

井上洋介

福音館書店

「ホウホウフクロウ」には、もちろんフクロウもでてくるけれど、ほかのいきものも出てきます。でも、なにかじけんがおこるわけではありません。すてきなえと、すてきなことばがあると、こんなにすてきなえほんができるのです。

「ホッキョクグマ」
ジェニ・デズモンド

BL出版

にんげんのせいで、ぜつめつのききにあるホッキョクグマ。このままではいなくなってしまうかもしれません。そんなホッキョクグマとかんきょうをまもれるのみにんげんです。まずは、ホッキョクグマのことをしることからはじめてみませんか。

「王様になった羊飼ひ」チベットの昔話

松瀬 七織 再話

福音館書店

いつもおなかをすかせていたひつじかいの少年。草原^{そうげん}であつたうさぎに百日の間^{あいだ}食べものをわけてあげると、うさぎはおじいさんにかわります。おれいにどうぶつのことばがわかる力をもらった少年は、その力をつかって、王さまのたのみをかなえようとしますが。

「ぼくのねこはどこ？」

ヘンリー・コール

岩崎書店

もちろんねこのはなしですが、字がかいていないふしぎな本。いろもくろと水いろだけ。だから、じゆうにかんがえていいんです。出てくるねこや男の子のこと。まちのおとや、そらのいろのこと。字がない本も、いろいろかんがえられてたのしいですね。

その他のおすすめの本

本の名前	著者名	出版社
えほん図鑑 へんてこ！りくのぜつめつどうぶつ	はた こうしろう	アリス館
かくれてぱくり	嶋田 泰子	童心社
もぐらはすごい	アヤ井 アキコ	アリス館
マララのまほうのえんぴつ	マララ・ユスフザイ	ポプラ社
たぬきの花よめ道中	最上 一平	岩崎書店
ごちそうの木 タンザニアのむかしばなし	ジョン・キラカ	西村書店
アンドルーのひみつきち	ドリス・バーン	岩波書店
パイパーさんのバス	エリナー・クライマー	徳間書店
そろりそろりとやさいがね	ひろかわ さえこ	偕成社
虫のしわざ探偵団	新開 孝	少年写真新聞社